



今月のテーマ

2025年4月～6月 キックオフダイジェスト!

全学の
取り組み

「ビジョン2040」と「J-PEAKS」を踏まえた組織目標・個人目標(MBO)を設定

事業を着実に推進するため、これまでの中期目標・計画に加えて、「ビジョン2040」、「J-PEAKS」を踏まえた組織目標、個人目標を全学を挙げて設定しました。現在、ビジョン実現に向けた2040年までのロードマップの作成の準備を進めています。来年度からはビジョン→ロードマップ→組織目標→MBOと、一貫した方針展開ができるようにしたいと考えています。



KICK-OFFS

推進体制を整備

1 社会実装体制

イノベーション3本部を中心に未来思考実証センターで活躍する社会実装人材の獲得など体制整備を開始

2 予算執行

経理課、経営戦略室で構成する「J-PEAKS予算チーム」が、関係部署と令和7年度予算について協議を開始

3 情報発信

「TAYORI」、「X」を始めとする情報発信の整備

DISCUSSION



連携大学やJ-PEAKS採択25大学との意見交換

連携大学の長崎大学や北九州市立大学と予算の協議を実施。また、全25の採択大学間では積極的な意見交換が行われており、九工大も先行事例の収集を始めとした意見交換を開始しました。



<意見交換 実施大学>

4月 岡山,長岡科技

5月 北海道,千葉,OIST

6月 奈良先端,金沢,慶応

PARTNER



九州工業大学の担当サポーター決まる

J-PEAKSには有識者による伴走チームがあり、採択大学には各々担当サポーターが着任、事業を支援いただく仕組みになっています。九工大のサポーターは、九州大学名誉教授の**安浦 寛人 (やすうらひろと) 氏**に決まりました。

また、伴走チームと意識合わせのための共通指標を5月、6月で協議、策定しました。



本学のJ-PEAKSは「宇宙」「ロボット」「通信」を重点分野としており、「ディープテックの社会実装」が取り組みの柱の一つですので、「関係するのは一部の研究者だけ」という声も聞こえます。ただ、大学全体の研究力が向上し、大学全体が豊かにならなければ、事業を実施する意味はないと考えています。

国の言葉を借りると、J-PEAKSは「大学の経営改革事業」です。残念なことに基礎研究に対する国からの運営費交付金の増額は期待できる状況にはありません。本学では、社会実装など縁取る研究分野でしっかり稼ぐことで、「大事だけれど、すぐにはお金にならない研究」に資金を回せる仕組みの実現に取り組んでいきます。

※リエゾン：J-PEAKSを進めるにあたっての文部科学省・JSPSとの橋渡し役のこと

MIYAKE
リエゾンの
つぶやき...



Follow me!

Xで九工大/J-PEAKS
関連ニュース配信
始めました。

